

2017 年 5 月 18 日

報道関係者各位

DIC株式会社

〒103-8233 東京都中央区日本橋 3-7-20

ディーアイシービル

DIC インクジェットプリンター用インキの脱気などに用いられる 中空糸膜モジュールの生産工場を新設 インクジェット印刷市場の需要拡大に備える

D I C株式会社（本社：東京都中央区、社長執行役員：中西義之）は、液体の脱気・給気をコントロールする中空糸膜モジュール「SEPAREL®」シリーズにおいて、産業用インクジェット（以下、IJ）プリンター用インキの脱気などに用いられる小型モジュールの生産能力強化を目的に、1月に当社千葉工場敷地内に新工場を建設しました。新工場は、中空糸製造ラインに続いてスダレ編み機を導入し、試運転を経て、2017 年中の本格稼動開始を目指します。このたびの投資額は、建屋を含め約 8.5 億円で、生産能力は約 1.5 倍になります。



中空糸断面（拡大）



中空糸



インクジェットインキ用中空糸膜モジュール

ポスターや看板、写真などの印刷に利用される産業用 IJ 印刷機には、インキ中の気泡を除去するための脱気モジュールが組み込まれています。IJ 印刷では、インキ中の気泡による被膜欠陥が製品不良の原因となるため、特に高精細が求められる用途では、インキからの脱気は不可欠な機能となっています。

当社では 1989 年から中空糸膜事業に参入しており、直径 200～250 μ m の中空糸表面に約 1 μ m のスキン層と呼ばれる高密度層を生成させることで優れた密閉性を実現しています。この機能による脱気時の負荷低減が高く評価され、IJ プリンター向け脱気モジュール市場では 70% という高いグローバルシェアを有しています。

産業用 IJ 市場は、昨今の小ロット化やオンデマンド化の進展により、毎年 8%程度市場が拡大しています。このたびの投資は、拡大する市場において、優れた性能を示す当社製品を求める顧客の声に応えるとともに、業界トップの地位をより強固にするためのものです。

当社では、このたびの生産能力増強により、IJ プリンター用途での高シェアを維持・拡大させていくことに加えて、2015 年に本格参入した超純水製造設備用の大型脱気モジュール市場での拡販などにより、中空糸膜モジュール事業における売上高を、2020 年には、2016 年比で倍増となる 70 億円を目指していきます。



中空糸膜モジュールの新工場（千葉工場内）

SEPAREL®専用ホームページ <http://www.separel.com/>

報道機関からのお問い合わせ コーポレートコミュニケーション部
お客様からのお問い合わせ メンブレン営業部

TEL 03-6733-3033
TEL 03-6733-5944